



PUNQTUM

► BY RIEDEL

Q-Tool

System Configuration Software

Q-Series Network Based Intercom System

USER MANUAL

日本語版

WWW.PUNQTUM.COM

このマニュアルはソフトウェア・バージョン 2.2 に適用されます。

This manual, as well as the software and any examples contained herein are provided “as is” and are subject to change without notice. The content of this manual is for informational purposes only and should not be construed as a commitment by Riedel Communications GmbH & Co. KG. or its suppliers. Riedel Communications GmbH & Co. KG. gives no warranty of any kind with regard to this manual or the software, including, but not limited to, the implied warranties of marketability or fitness for a particular purpose. Riedel Communications GmbH & Co. KG. shall not be liable for any errors, inaccuracies or for incidental or consequential damages in connection with the furnishing, performance or use of this manual, the software or the examples herein. Riedel Communications GmbH & Co. KG. reserves all patent, proprietary design, title and intellectual property rights contained herein, including, but not limited to, any images, text, photographs incorporated in the manual or software.

All title and intellectual property rights in and to the content that is accessed through use of the products is the property of the respective owner and is protected by applicable copyright or other intellectual property laws and treaties.

© 2024 Riedel Communications GmbH & Co. KG. All rights reserved. Under the copyright laws, this manual may not be copied, in whole or in part, without the written consent of Riedel.

Every effort has been made to ensure that the information in this manual is accurate.

Riedel is not responsible for printing or clerical errors. All trademarks are the property of their respective owners.

- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>

目次

1	はじめに.....	3
1.1	ご案内	4
2	punQtum Q-Series デジタル・パーティライン・インターカム・システムについて	5
3	ソフトウェアのインストール.....	6
3.1	Q-Hub	6
3.2	Q-Tool	6
4	Q-Hub.....	6
4.1	News タブ.....	6
4.2	Apps タブ.....	7
4.3	Firmware タブ.....	7
5	Q-Tool.....	8
5.1	新規 punQtum インターカム・システムを設定するための基本的なワークフロー	8
5.1.1	システム設定を定義する	8
5.1.2	デバイスをシステムに追加する.....	8
5.2	Q-Tool 使用時のヘルプ	10
5.3	サポート・リクエスト.....	12

1 はじめに



punQtum デジタル・インターカム・ファミリーへようこそ！

本書では punQtum Q-Series デジタル・パーティライン・システムに関する詳細情報と設定の選択肢について説明します。

1.1 ご案内

図記号

下表は機器の取り扱いや使用に関する危険や注意事項を示すものです。

	この文章は細心の注意を払う必要がある状況を示します。また、安全でない行為に対する注意喚起にも使用されることがあります。
	この文章は一般的な情報を提供するものです。作業を容易にするため、または理解を深めるための行動を示します。

2 punQtum Q-Series デジタル・パーティライン・インターカム・システムについて

punQtum Q-Series デジタル・パーティライン・インターカム・システムは、劇場や放送局、またコンサートなどのあらゆるカルチャー・イベントに対応する使い易いデジタルのフルデュプレックス・コミュニケーション・ソリューションです。

punQtum Q-Series はネットワーク・ベースのまったく新しいパーティライン・インターカム・システムで、標準的なパーティライン・システムの機能と最新の IP ネットワークの利点を兼ね備えています。このシステムは工場出荷時の初期設定で「箱から出してすぐに」機能しますが、ユーザーフレンドリーなソフトウェアによって、個々のニーズに合わせて素早く設定することができます。

このシステムは完全に分散化されています。システム全体にはマスター・ステーションやその他のインテリジェンスの中心的なポイントは存在しません。すべての処理は各機器内でローカルに扱われます。1つのパーティライン・インターカム・システムの容量は、最大 32 チャンネル、4 プログラム入力、最大 4 パブリック・アナウンス出力、32 制御出力に設定されています。

punQtum Q-Series デジタル・パーティライン・システムは、パーティライン・インターカム・システムの使用と管理を容易にするために、**ロール** [Role: 役割] と **I/O セットアップ** [I/O setting: 入出力設定] に基づいています。

ロールはデバイスのチャンネル設定のテンプレートです。これにより、ライブ・ショーの運営に必要な様々な役割に応じて、チャンネル設定や代替機能を事前に定義できます。例えば、舞台監督、音響、照明、衣装、警備の各担当者が完璧な仕事ができるように異なる通信チャンネルを持っている場合を考えてみてください。

I/O セットアップはデバイスに接続された機器の設定のテンプレートです。例えば、会場で使用するヘッドセットごとに I/O セットアップを用意することで様々な環境条件に対応できます。

各デバイスは任意のロールと I/O セットアップにすることができます。

複数の punQtum パーティライン・インターカム・システムが同じネットワーク・インフラを共有できます。これによって、同じ IT ネットワーク・インフラを用いてキャンパス内にプロダクションのアイランドを作ることができます。デバイス（ベルトバック/スピーカー・ステーション）の数は理論的には無限ですが、ネットワーク容量によって制限されます。ベルトバックは PoE スイッチまたはスピーカー・ステーションから PoE 給電されます。ベルトバックはディジーチェーン接続が可能ですので現場での配線工数を削減できます。

ベルトバックは 2 チャンネルの同時使用に対応しており、各チャンネルに別々の TALK と CALL ボタンとロータリー・エンコーダー 1 個を備えています。代替ページ・ボタンによって、パブリック・アナウンス、Talk To All、Talk To Many などの代替機能に素早くアクセスして汎用出力を制御したり、Mic Kill などのシステム機能にアクセスすることができます。ベルトバックは耐衝撃性の高い樹脂やゴムなどの高級素材を組み合わせて設計されており、どのような状況でもタフで快適に使用できます。

punQtum Q Series ベルトバックおよびスピーカー・ステーションでは、聞き逃したり理解できなかったメッセージを再生することができます。プログラム入力信号はどのスピーカー・ステーションでもアナログ音声入力を使用してシステムに入力できます。

ベルトバックとスピーカー・ステーションには高輝度かつ調光可能な RGB カラー・ディスプレイを採用して直感的で読み取り易いユーザー・インターフェイスを実現しています。

3 ソフトウェアのインストール

- Q-Tool は、MacOS Catalina, Big Sur, Ventura および Windows 10 と 11 用のダウンロードが用意されています。それ以前の OS バージョンで Q-Tool を実行することは可能ですがサポートされていません。
- Q-Tool を punQtum のウェブサイト www.punQtum.com/downloads から入手し、インストーラーを実行してください。2つのパーツがインストールされます：

3.1 Q-Hub

Q-Hub は Q-Series のあらゆる機器のニュース、Q-Tool のアップデート、新ファームウェアの情報源です。Q-Hub はバックグラウンドで動作し、ニュースやアップデートが利用可能になり次第、お使いのデバイスにダウンロードします。これにより、オフラインの状態やインターネットに接続できない状態でも Q-Series インターカム・システムのアップデートを行うことができます。

Q-Hub は Mac のメニュー・バーまたは Windows のタスク・バーからアクセスできます。

3.2 Q-Tool

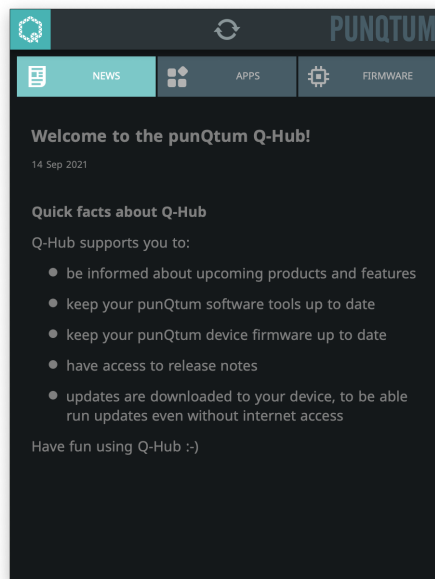
Q-Tool は Q-Series インターカム・システムの設定ソフトウェアで、Q-Series インターカム・システムの設定と管理を行うことができます。

4 Q-Hub

Q-Hub はすべての Q-Series デバイスおよびツールのニュース、アップデート、ファームウェアの供給源です。操作はシンプルで簡単です：

4.1 News タブ

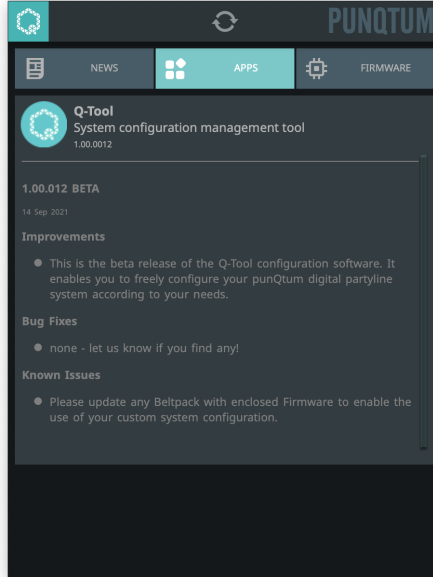
- Q-Hub には Q-Series インターカム・システムの今後の機能や製品について取り上げるニュース・チャンネルがあります。



4.2 Apps タブ

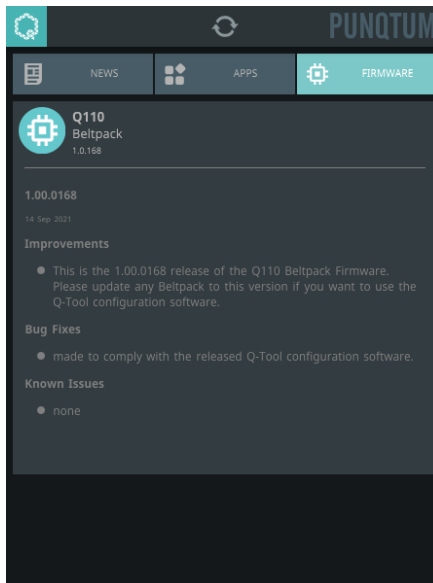
Apps タブには以下の選択肢があります：

- Q-Hub から Q-Tool を起動する。
- 新しいバージョンが利用可能な場合に Q-Hub から Q-Tool をアップデートする。
- Q-Tool のバージョンのリリース・ノートを確認する。



4.3 Firmware タブ


- Q-Hub はデバイスのファームウェアのアップデートを Q-Tool で利用できるようにします。ここでリリース・ノートを読んでください。



5 Q-Tool

5.1 新規 punQtum インターカム・システムを設定するための基本的なワークフロー

新規（空白）のシステム・コンフィギュレーションを開くか、工場出荷時のコンフィギュレーションを、出発点として新しい名前で保存します。作業中のシステム・コンフィギュレーションの名前は Q-Tool ウィンドウのタイトル・バーに表示されます。



選択した内容に応じて、ワークフローで提供される選択肢は以前に行った選択に依存します。したがって、使用する予定のない機能の設定選択肢は表示されません。

5.1.1 システム設定を定義する

以下の操作は、機器をネットワークに接続しなくても可能です。

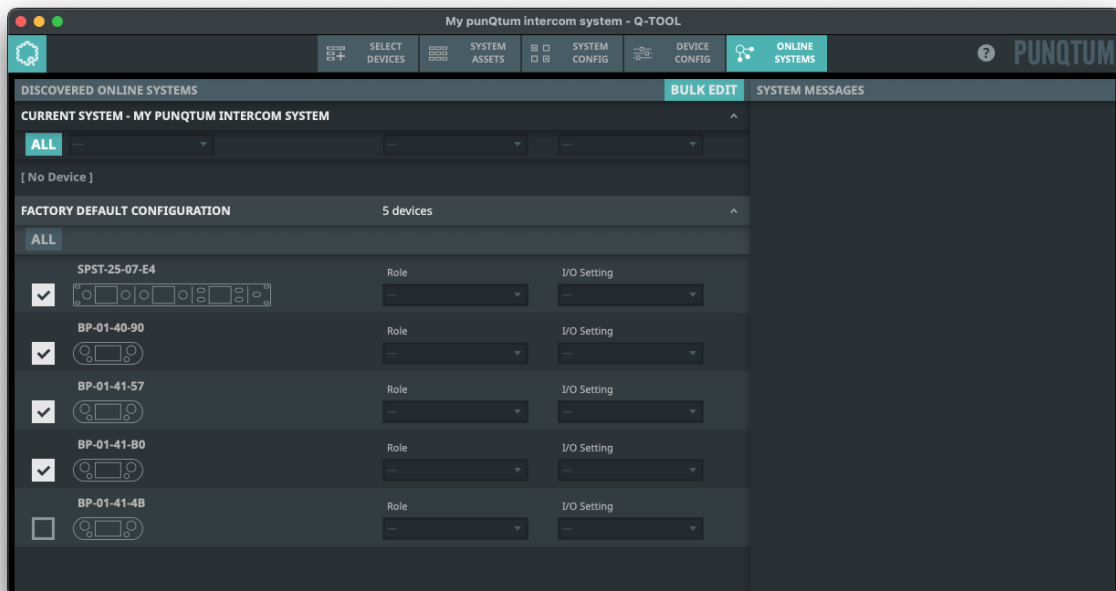
タブを左から右へと作業してください：

1. システムで使用するデバイスを選択します（Q110 ベルトパックのみを使用する場合は表示されません）。
2. システムで使用するアセットを選択して名前を付けます。
3. システム・アセットを設定します。
4. 使用するデバイス用のロールと I/O セットアップを追加して定義します。

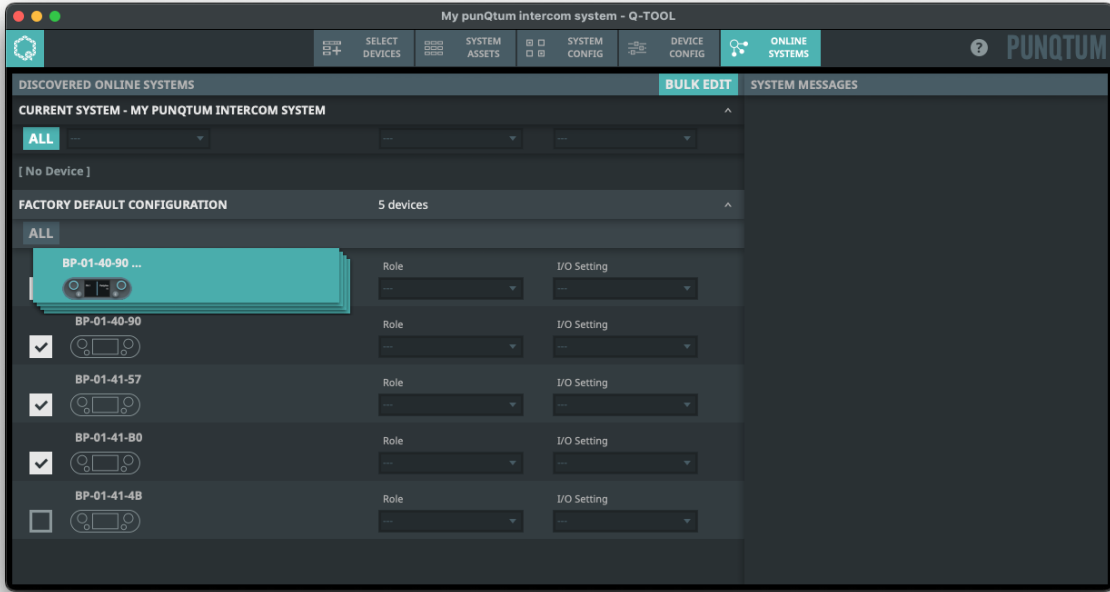
5.1.2 デバイスをシステムに追加する

この手順では Q-Tool が、punQtum 機器を運用するのと同じネットワークに接続されていることが必要です。

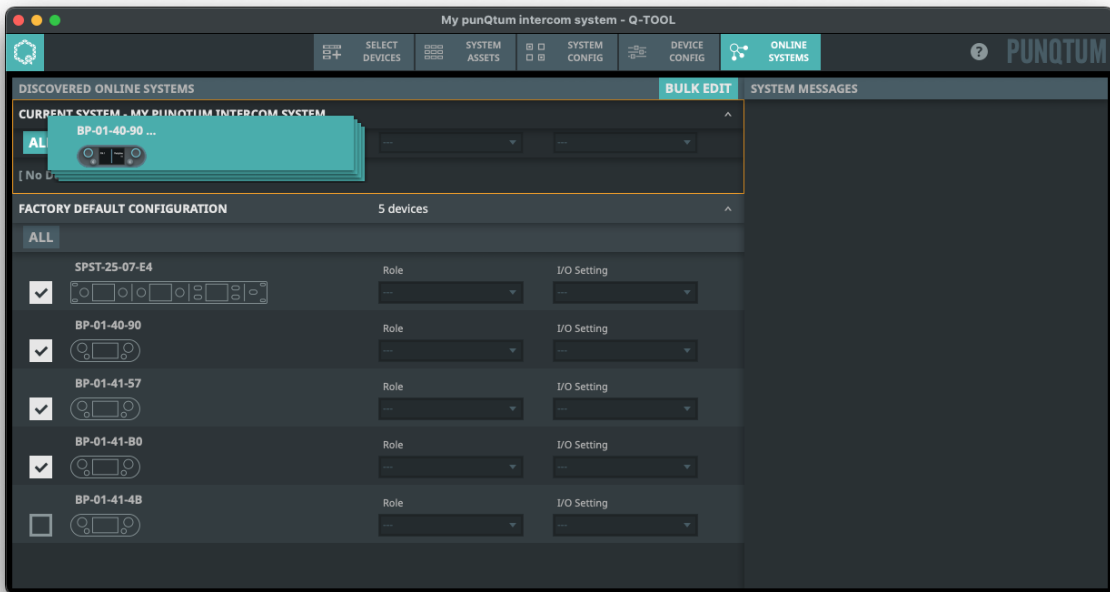
1. Online Systems タブに移動し、接続されているデバイスを確認します。
2. バルク編集モードを使用して、移動させたいデバイスを選択します。バルク・モードを使わなくても、個々のデバイスは同じ方法で移動できます。



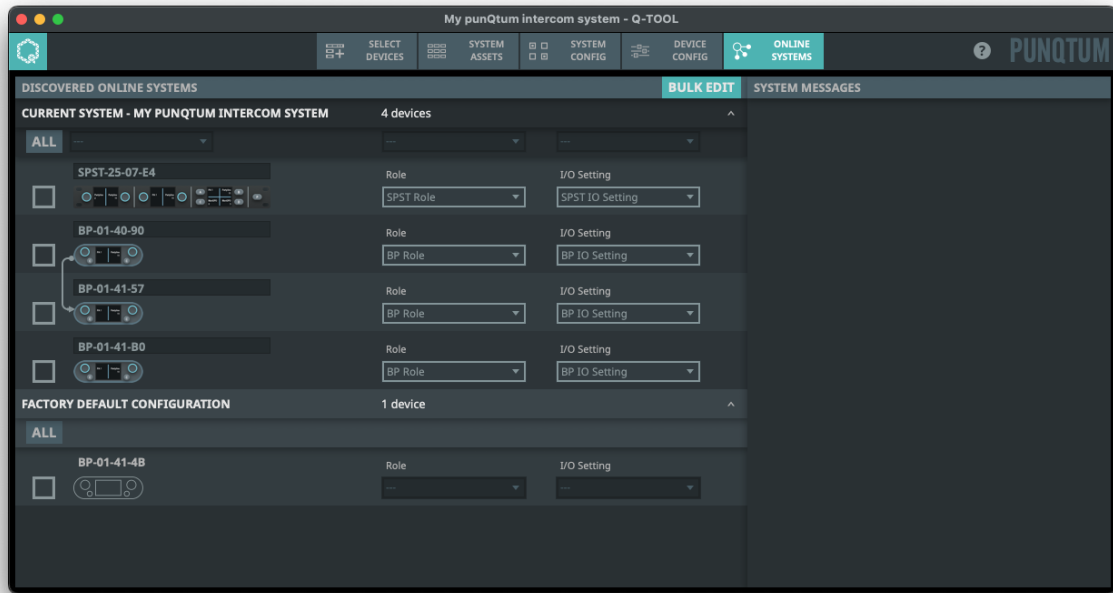
- 3. Online Systems タブの現在のシステムのセクションに、システムで使用したいデバイスをドラッグ&ドロップします：
ドラッグして：



ドロップする：



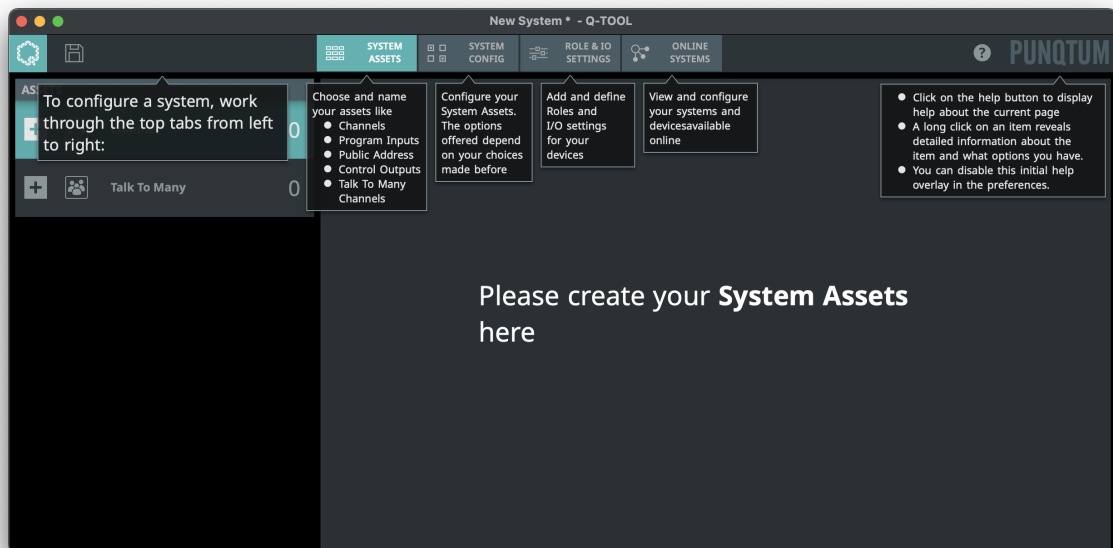
4. 結果：



5.2 Q-Tool 使用時のヘルプ

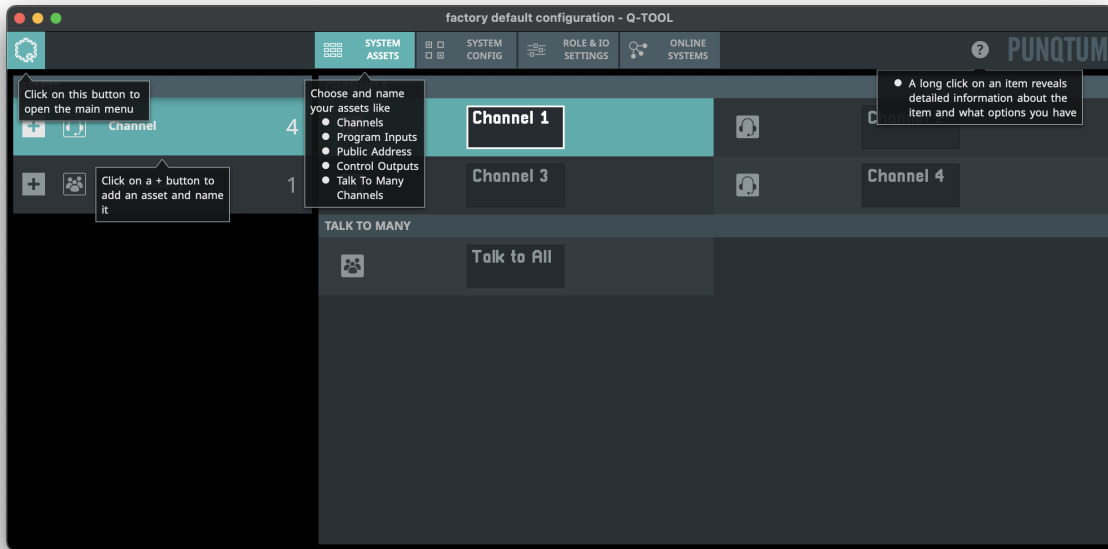
Q-Tool のヘルプ・システムは、効率的な作業の役に立ち、操作の流れに沿って質問の答えを得ることができるように Q-Tool に完全に統合されています。

Q-Tool を開くと基本的なワークフローについてのヒントが得られる初期ヘルプ・オーバーレイを見ることができます。Q-Tool を使うことに慣れたら、プリファレンスでこの初期ヘルプ・オーバーレイを無効できます。

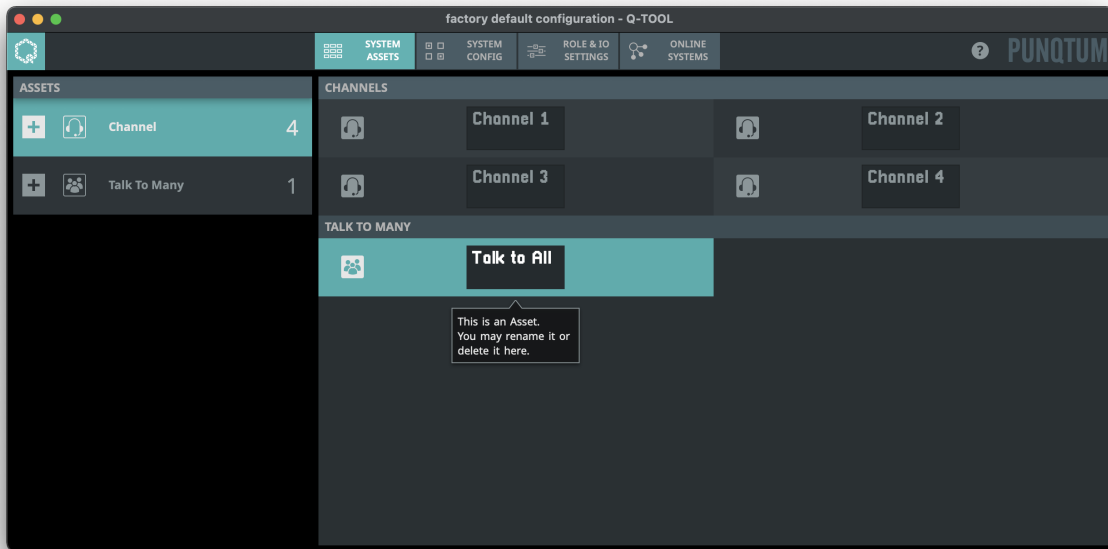


Q-Tool で作業する際、2つの情報源を頼ることができます：

- 各ページでは、**?** アイコンをクリックすることによって、ワークフローに関するコンテキスト・ヘルプ情報を含むヘルプ・オーバーレイを表示します。



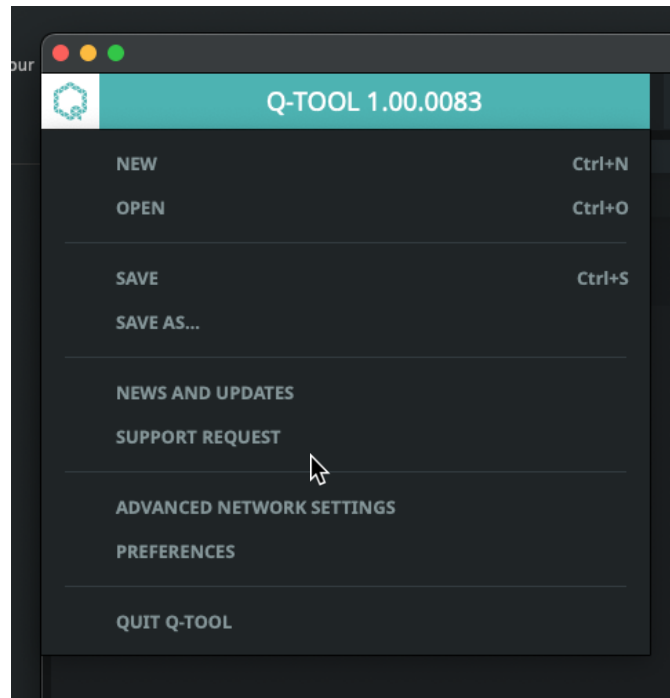
- ページ上の項目は、項目自体を長くクリックすることで詳細な情報を表示します。



5.3 サポート・リクエスト

システムのセットアップに問題が発生した場合はテクニカル・サポート・リクエストを開始できます。

- Q-Toolのメイン・メニューにある SUPPORT REQUEST をクリックしてください。



- .zip ファイルを任意の場所に保存し、問題の説明とともに保存した .zip ファイルを以下の宛先にお送りください：

support@pungtum.zendesk.com

